

「子どもの広場（居場所）づくりボランティアの養成」

岩切市民センター×宮城野区中央市民センター

1 事業概要

岩切小学校は、1000名を超える児童が在籍している仙台市内で最も児童数が多い学校です。その地域で生活する子どもたちの「遊びの場」を創出することで子どもの居場所を作り、子どもを見守る地域住民のネットワークを形成することを目標に事業を開始しました。



2 今年度の活動

毎月最終土曜日を基本として「子どもの広場」を開催し、各回平均30名の子どもが参加しました。7月の開催では、70名を超える児童が来館し、夏休みの居場所の一つとなりました。

会場には、岩切で活動するサークルによる、「的当て（岩切吹矢同好会）」、「バンブーリング（岩切ペタンククラブ）」、「からむしストラップ作り（岩切歴史探訪の会）」、「折り紙（折り紙サークル はぎ）」などのコーナーが準備されました。また、岩切地区民生委員児童委員協議会、岩切地区社会福祉協議会、仙台市シルバー人材センター岩切地域班なども、「オーバルキャッチ」や「輪投げ」のコーナーを運営しました。



的当て



バンブーリング



からむしストラップ作り

3 成果と課題

事業を開始して4年目を迎え、「子どもの広場」の定期的な開催により、地域の活動として子どもたちに認知されるようになってきました。また、ボランティアの方々の参加も続いており、子どもと大人と一緒に活動する場として定着しています。さらに今年度、チーム名を「岩切子どもの広場ボランティア」と命名し、一層の一体感を持って活動することができました。事業5年目に向けて、毎回同じ体験内容ではなく、新しい種目を導入することも検討していきます。



輪投げ

4 今後の展望



人的・物的な環境整備を進め、次年度も継続して取り組んでいけるように、ボランティアの方々の思いの共有化を図ります。参加者の子どもとボランティアの大人の両方にとってよい居場所となるような事業を目指していきます。